

目標達成計画

作成日:平成25年6月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人リネンを事業所の理念として扱っていた。事業所の特徴を踏まえた理念をつくるのが課題。	グループホーム独自の理念をつくり、その目指すべき方向を明らかにする。	法人の理念を踏まえた目指すべき方向についてスタッフからフレーズを募り、職員会議を経てまとめ、法人本部の了承を得て「グループホームの理念」制定する。	12ヶ月
2		地域との交流を図り、複合福祉施設として地域住民の一人として町内会に参加していく。	地域での避難訓練や運動会等に参加できるようになる。	町内会に加入し、回覧板等を回していただけるようにし、地域の人たちの施設見学等を積極的に受け入れるようにする。	12ヶ月
3		重度化した場合のガイドラインを早急に作成し、ご利用者やご家族から同意をえておくようにする。	重度化した場合のガイドラインの作成と平行して医療連携体制加算を取得できるように人員体制を整えていく。	医療連携体制加算の人員要件を法人内の職員体制と誠意合成を図りながら、重度化した場合のガイドラインを作成する。	12ヶ月
4		施設全体の避難訓練を1年に2回確実にこなす。職員の手薄な夜間でもスムーズに避難できるように職員一人ひとりが経路や手順について熟知しておく。	消防署や地域住民と連携した避難訓練を行なえるようにしていく。職員体制の手薄な夜間帯にも安全に避難できるよう地域との連携や仕組みをつくる。	毎月実施しているナースコールの点検と併せてスタッフ一人ひとりが避難の手順や経路を実際に体験していくよう仕組みを整える。地域と連携した避難訓練については地域住民との交流と併せて進めていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。